

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaki/>

2010.03.14 第18号

発行：船坂新聞俱楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

今秋のビエンナーレ

船坂の自然からアートを発信しようと”めくら蛇におじす”でスタートした船坂ビエンナーレ2009プロローグは”案するより産むがやすし”と5000余人の来場者を迎えるました。西宮に船坂という僻地あり、いまだ里山は残っており、しかし小学校は廃校になるというような認知に役立ったでしょう。惜しみ無く協力をして頂いた総ての方々の成果であり、その実行委員長として主催できましたことに私は何と果報者かと心からお礼を申し上げます。

この秋、本格的なビエンナーレがスタートします。2年後、4年後を見据えての開催になります。足をしっかりとつけた企画と運営が必要です。そのためには若いエネルギーが必要です。この3月で、私は実行委員長を辞任させて頂くことになりました。今後はボランティアの一員として、積極的に協力、参加させて頂きます。在任中は本当に有り難うございました。新委員長の下での開催を楽しみにしております。

今秋開催のビエンナーレは将来は国際的な規模のビエンナーレをめざすとしても、まだ伸び伸びできる状態ではありません。船坂の自然との調和、ローカリズム、地域の創造性の発露の良質なアートを提供する、地域の個性をいかに出すかが課題で、必ずしも作品を多くする必要はないと思います。ハイキングも兼ねればよい。農作物の販売も良い。

地元住民のアートへの理解と協働、船坂という地域の記憶を人々の心の中に植え付ける、若者ボランティアが新たな命を地域にもたらす、というような段階ではないでしょうか。少々、私の意見を述べさせて頂いて、退任お礼の一文とさせて頂きます。

(前実行委員長 坂田 芳郎)

山口センター1周年記念イベント

4月4日(日) 14:00から山口ホールで。

今、日本全国で売れっ子のソプラノ歌手（県西音楽科、大阪音大卒）並河寿美さんの美声を聴きに行きましょう。曲目は「花」「この道」「荒城の月」「フィガロの結婚」「蝶々夫人」ほか。山口センター受付で前売券1,000円販売中。

calender (3/14~4/11)

3/14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
自治会定例会				老人クラブ	船坂小学校卒業式	農業行事	芸術祭	古船	船坂	新規	民衆	坂井	市長	さくらまつり	山口一周年記念	山口市年記念															
式	例会	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式
会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会	会

3月4月のコンサート予定

3/20(土) 赤穂美紀ラテンコンサート
4/8(木) 並河寿美オペラコンサート



要：電話予約



Tel:078-903-1172

創業昭和八年
北福呉店
西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660

FUNASAKA
西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地

Tel/Fax 078-903-1158



「アートイン船坂」と「お笑いの集い」がTVで放映されます!!

3月20日(土) 17:45~18:00

サンTV 出会いのまち西宮「思い出をありがとう! 船坂小」



閉校イベント

船坂の新しい出発に向けて～船坂小学校137年の思い出～

2月13日(土)、船小閉校にかかる地元行事が、午前中の小学校行事「アートイン船坂」に引続いて行われました。当日は天候にも恵まれ、総勢約300名という予想を上回る方々に参加いただきました。体育館での催しは大きな支障なく進めることができ、参加者の皆様にそれぞれ楽しんでいただけたことと思います。また、開放していた校舎にも約30組の方が訪ねられ、実際に船小の姿を目にしていただけましたし、石碑の除幕式も多数の方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。当日、一番印象に残ったのは、船小の記録写真や文集をもとにお友達と話がはずんだり、お世話になった先生との久しぶりのご対面で当時の出来事を懐かしく話されてる様子が各所で見受けられたことでした。

このようなイベントをほとんど手掛けたことのない者たちが集まっての本当に手作りの閉校行事で、お粗末な点も多々あったかと思いますが、船坂小学校の思い出を振り返っていただくお手伝いが少しは出来たのではないかと、実行委員一同本当に嬉しく思っています。改めて参加いただいた皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。
(中西民子)



“お笑いの集い”に参加して

2月とは思えないあたたかい陽気の中、たのしいひとときをごさせさせていただきました。地域の方たちの演目では、ご高齢とは思えない声量での詩吟にはじまり、美しい着物での詩舞を見せていただきました。せんすを使っての舞を見たあと、子どもたちも折り紙をじゅばら折りにしてせんすをつくり、まねをする姿が見られました。大正琴の音色を私は始めて聞いたのですが、とてもかわいらしい音色で思わずいっしょにメロディを口ずさみました。味わい深い小唄が心にしみ入り、どうぞくいで和やかな雰囲気となりました。関西学院の学生さんの落語では、子どもたちも真剣なまなざしで聞き入る様子が見られました。この会で得た笑いのパワーを力にして、それぞれの新しい環境でもがんばってほしいです。

子どもたちの感想を紹介します。「私は落語がすごくおもしろかったです。とくに一番のどうぶつがたくさんでてくる話がおもしろかったです。かわうそとか、ハイエナとか、キリンとか色々な名前ができました。上手に話をことわっていて、すごいと思いました。」「先生あのね、今日ねおわらいのつどいで校長先生がめちゃくちゃおもしろかったよ。どうぞくいでのかっこうが一番おもしろかったよ。心の中で、わらいころげたよ。」「わたしはどうぞくいのどうじょうをくうところが一番おもしろかったです。こうちゅう先生の手がどうなっているのか、わからなかかったです。そして、いつしゅんはなに画びょうをさしているのかなあーと思って、びっくりしました。」



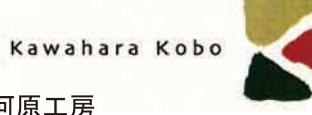
(船坂小学校教諭 吉本浩子)

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストランAlice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL 078 (904) 2603

バースデーケーキをお宅までお届けします。
(山口町内 無料配達いたします。)



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp



〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com



ちょっと気になる屋号

昔は旅籠だった「かぎや」の榎木さん

今回は、「かぎや」という屋号だった榎木三重子さん宅を訪問しました。榎木さんの家は、バス停「舟坂東口」から南西へちょっと入った所にあり、昔、生瀬から太多田川を遡って来た旅人達がホッと一息入れるのに適した場所でした。

- ここにちは。榎木さんのお家は「かぎや」という屋号をお持ちだったんですね。

○ そうやねん。私は小さいときから近所の人から「かぎやのみーちゃん」と呼ばれてて、榎木さんと呼ばれることなかったですねえ。

- 「かぎや」というのはどういう商売だったんですか？

○ 昔、旅籠やったようですねえ。家の餅箱にかぎやの屋号の焼印が残っていますねん。ほら、鍵の印と「矢」の文字が刻まれてますやろ。

昔は旅館の名前が鍵屋というのが多かったそうです。



- 今も土蔵は残ってるんですか？

○ 阪神大地震でつぶれてしまいましてん。蔵は建て替えたんですけど、昔の土蔵の鍵は残してあります。

これが、昔の土蔵の外側の鍵と錠前ですねん。（写真右）



- ほかに旅籠の名残は？

○ 改修してしまいましてんけど、表通りに面して大きな格子戸の玄関があつたんです。土間と最初の部屋はそのまま残してます。上がり口の履物入れや、土間の柱や梁も昔のままです。土間をはさんだ壁の向こうは馬屋やつたそうですねん。馬を曳いて来られたお客様もあったんとちがいますか。番傘を置く棚もありました。それからお料理を部屋へ運ぶ手提げ籠や大鉢、皿、跳子なんかが蔵の中に残ってます。

- どんなお客様が泊まられたんですか？

○ やっぱり有馬へ行く途中の人とちゃいますか。絵描きさんが長逗留されることもあるそうですが。

- いつ頃旅籠をしておられたんですか？

○ 江戸の中期頃に家が焼けて、大慌てで建て直したと聞いてます。旅籠してたんで、早いこと建て直さんといかんかったようですねえ。休憩所も兼ねてたみたいやけど。



- 旅人たちが急な坂道を登ってきて、ここでホッとしたんでしょうね。

○ 生瀬から蓬莱峠へ登る道が最初に右へ急カーブする所がありますやろ。昔は、そこから真っ直ぐ細い道を登って、バス停「東口」から1km程下った所の地蔵さんが祀られてる所へ登ってくる道があったんですよ。小さい頃、蓬莱峠で映画撮影がある時、その道を通って俳優さんを見に行きました。

- 榎木さんの家はまさに船坂の入り口だったんですね。清水も近くで湧いてるし。

○ 清水は、地震の前までこんこんと湧き出てて、3段の水槽の上から順に飲み水、米野菜洗い水、洗濯水として使ってました。汚物は水槽の外で洗いました。風呂水にも使ってて、まわり湯と言って近所の5~6軒で順番に風呂を焚いて、もうい湯をしたものです。昔は、籠屋、鉢屋、小間物屋、湯葉屋、豆腐屋、下駄屋、呉服屋、骨接ぎ屋、匂屋などいろんな店があったそですよ。

● そうですか。今のように交通の便が良くなかったので、お互いに助け合っていたのでしょうね。今日はお忙しいところをありがとうございました。（取材：鮫貝季子、池田壱和）

セブン-イレブン
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

Daddys Bakery est.2002

〒651-1423 西宮市山口町船坂90
TEL : 078-907-3920

株式会社 加盟

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4
TEL : 078(904) 3843 FAX:078(904) 0169
<http://www.forever-kato.co.jp>

有馬街道ぶらり探訪 その2

“有馬街道を川の瀬づたいに、流れを右に左に飛び交いながら往来した四十八瀬の道端に拋岩とよばれる大石あり。弘法大師有馬温泉に赴き給ふ時、此大岩往來の妨げとなるゆえ、山腹へ拋げ上げ、道の悪いを除き給ふ。後來洪水の時、岸を崩すといえども、曾て落つる事なし。見るもの危うしと思う。”と「摂津名所図絵」に記されている大岩がある。

「有馬郡誌」は、“太閤有馬湯治の際、座頭谷の話しを聞きてこの岩に『右ありま道』を揮毫せり。長さ2間、横2間半、周囲約10間、今尚現存す。”と記す。

「一本松」の停留所を出たバスは「しるべ岩」の停留所へ着く。

バス停の下の太多田川岸の雑木の中にその大岩は今もある。

訪れる人もなくひっそりと座っている。

座頭谷の話とは次のような話である。昔、京の都に一人の座頭が住んでいた。持病に難渋していたが、有馬の湯が効能があると聞き、人々が止めるのも聞かず出立した。四十八瀬の難路を杖を頼りに急いでいたが、ふとしたことから道を誤り左手の谷間に迷い込んでしまった。前方には険しい岩の絶壁が立ち塞がり、右に十歩、左に二十歩するがいずれの方向にも冷たい岩の壁があるばかり、折から持病が彼をおそい、とうとう地上に座り込んでしまった。助けてくれる人もなく、秋の日はとっぷり暮れ、飢えと寒さが全身をおそう。かくして座頭はこの谷間に倒れたまま永久に起き上がることはなかった。数日して村の狩人が座頭の亡骸を発見し、哀れに思った村人は座頭を手厚く葬り供養した。

それ以来、この座頭の靈を弔うため付近の人たちはこの谷を座頭谷とよぶようになったという。「摂津名所図絵」には“此座頭谷の方は道広く、有馬道は狭し”と記す。

現在の座頭谷は数重もの防砂ダムで制御され、昔の面影はない。

別に、昔、この辺りは修験僧の往来が多くあったと思われる。ひょっとしたら修験者の修行の聖地であったかもしれない。

「しるべ岩」を出たバスは「座頭谷」を経て七曲りと称されるヘヤピンカーブへと入って行く。

(与志郎)

編集部より

- ・山崎ウトさんから寄付を頂きました。ありがとうございました。
- ・公会堂の自治会郵便受け近くに船坂新聞のポストを設置しました。

★★★皆様からの投稿をお待ちしています★★★

編集後記

絵：なるせわなか



今年はどこでお花見をしようかなあと思案中の今日この頃。船坂もきれいな桜が咲くので一年に一度の見ごろを逃さずに楽しみたいと思っています。
(亥角さくら)

絵：なるせかなわ

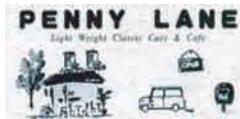


冬季オリンピックが終わりましたね。心なしか楽しそうに競技する選手が強かったように思いました。これを知る者は…これを楽しむ者に如かず。楽しい事は重要だと思った2週間でした。(塩貝 聖子)



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
<http://www.kozaidonya.com>



ガレージ&カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
<http://www.penny-lane.jp/>



株式会社 キューコーポレーション
〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041
FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com
代表取締役 植松 稔晶